

議 題	第二回 津谷大沢区	日にち	平成 23 年 11 月 27 日
	震災復興会議	時 間	19 : 00 ~ 21 : 30
場 所	新しい公共の場大沢事務所	参加者	・津谷大沢区振興会 18 名 ・復興に向けた新しい公共の場づくり協議会 5 名

参考資料	<p>○「食と地域の絆づくり被災地緊急支援事業実施提案書」</p> <p>○「みなさんの気持ちを言葉にしてみよう」(アンケートまとめ)</p>
会議事項 及び 話し合いの 結果	<p>○アンケート調査の結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災世帯及びその他地区内全世帯向け被災状況・今後の要望等のアンケート調査結果の報告(村中理事長)</li> <li>被害を受けた方々を含め今後も大沢に住み続けたいという意見が大多数である。</li> <li>産業(特に漁業)について具体的な意見が多く出された。</li> </ul> <p>○復興のテーマと計画の目標・柱について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標と計画の柱・復興のテーマに関する復興会議委員へのアンケートより集計した大沢地区での必要性及び優先順位、表現のまとめ(村中理事長)</li> <li>(委員)：ことはお抽象的でどの地区にも当てはまるような内容になってしまうのではないかと。大沢地区独自の具体的な言葉・計画を入れたほうが良いのでは？ ⇒目標と柱はだまかでもよい。みんなの気持ちが表れているような言葉でスタートを切ろう。具体的な計画内容が決まる都度、調整していくこととする。</li> <li>地区ごとに被害状況、被害対策、みなさんの思い、意見、将来の計画図などを3グループに分かれ書き込んでいただいた。(⇒次回会議まで一つの地区にて展開)</li> </ul> <p>○その他</p> <p>①復興イベント『がんばっぺな大沢!望念会』の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:12月4日(日)11時~14時、告知ちらし配布(11/25)済み。</li> <li>各役割分担の確認。</li> <li>仮設住宅入居者の方々にどうやったら喜んで来て頂けるか。</li> </ul> <p>②平成23年度農林水産省補助事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業の説明と、可能な経費の内訳と期限、内容について(斉藤専務)</li> <li>(委員)：来年度に続く事業はあるのか? ⇒あるが、来年度は津波被災地(今年度:500万円)も一律250万の補助となる。</li> <li>(委員)：500万という金額は? ⇒一団体への今年度の最大限度額</li> <li>(委員)：160万の委託費とは? ⇒グラウンドワークへの委託費用。</li> </ul>
その他	<p>○(被災者の声)：支援を受ける側と提供してくれる側には少し温度差があるのかもしれない。地元でイベント等あっても、盛りあがっている気持ちには正直素直に喜べない部分もある。無理をしないで呼びかけを行うこととする。</p>

